

■9月は基本的教育と識字率向上月間です。

*不登校の難題にクラブ・京都市・専門機関が動く 寄稿者：鈴木浩幸（京都洛中会員）

皆さんは「不登校」をご存知ですか？

言葉はお聞きになったことがあっても、詳しくは知らないという方が大多数ではないでしょうか。京都洛中ロータリークラブの2017-18年度テーマは「限りない友情と奉仕の心～地域を育む奉仕活動～」。これを受け、山本恵奉仕プロジェクト委員長は、「不登校の子どもたちへの支援」を提案しました。良い提案だと誰もが認めました。しかし、不登校は非常に重い社会問題です。ロータリーとして「取り組むべし」の課題であるものの、複雑で個々にケースも異なり、本当に何かできるのかと、ずいぶん議論になりました。議論をふまえ、山野貫一郎クラブ会長は、クラブテーマに掲げた育むべき地域とは「そこに生きる人」であるとして、難しいかもしれないが不登校支援に取り組んでみよう、と会員に呼びかけました。当クラブの地元には、全国に先駆けて不登校支援をはじめた京都市の機関「子ども相談センターパトナ」もあります。

こうした地域とのご縁もあり、京都市教育委員会と同機関よりご指導をいただきながら、市民向けの『不登校の子どもたちへの支援フォーラム』を事業の柱に据えることを決断しました。支援フォーラムは11月23日、池坊学園「こころホール」で開催することとなりました。ただし、その前に、まず私たち自身が不登校について知らなければなりません。専門家である藤原勝紀氏（京都大学名誉教授）と長谷川智広氏（子ども相談センターパトナ）をクラブに招いてお話しいただきました。私たち会員は、不登校の深刻な現状とともに、不登校が特殊な問題行動ではないこと、そして、「何かをしてあげる」のではなく「寄り添ってあげる」ことが大切だと学びました。支援フォーラムではシンポジウムを開催し、石崎立矢氏（京都新聞論説委員）の進行のもと、次のパネリストが発表を行いました。・竹宮 恵子 氏（京都精華大学学長）・石井 志昂 氏（全国不登校新聞編集長）・長谷川 智広 氏（子ども相談センターパトナ）・鈴木 浩幸（当クラブ会員）発表では、何をおいても不登校に対する社会全体の理解、温かいまなざしで見守ること、子どもたちを支援する横連携の社会的仕組みの整備が必要であること、などが焦点となりました。クラブ会員がパネリストの役割から、受付、案内誘導までを行い、まさに「クラブ手作り」のフォーラムとなりました。会場を埋めた約180人の市民・教育関係者は、最後まで熱心に参加していただき、励みになった、また開催してほしいなどのお声を頂戴しました。クラブはまた、フォーラムに合わせ、京都市に遊戯療法玩具を贈呈し、啓発目的のクリアフォルダを市立小6年生にプレゼントしました。

今回の事業を通じて、地域社会、ひいては世界を切り拓いていく青少年の育成がいかに重要であるか実感しました。また、ロータリーを通じて社会における課題を常に学び、課題の大きさに怯むことなく、地域社会と連携しながら、解決に向けて挑戦し続けるべきであることを、会員一人一人が再認識できました。「挑戦してみてよかった」「参加できて嬉しかった」と会員が感じる事ができた今回の支援フォーラムは、クラブの将来に向けた大きな財産となったと考えています。（2018年5月、rotary voice ページより）

週 報

ロータリーは
世界をつなぐ

Rotary connects the world

マーク・ダニエル・マローニー
2019-20年度 国際ロータリー会長



第2861回 例会報告

例会記録・予定

出席報告

会 員 数	83名
出 席 計 算 会 員	83名
出 席	40名
欠 席	43名
出 席 率	48.19%

欠席会員名 新本、宮城、森、湧川、吉村、与儀、平良（修）、新里、杉本、三反園、保田盛、喜屋武、許田、國吉、伊志嶺、具志堅、今福、渡辺、下石、新垣（安）、朱、宜保、吉岡、井手上、上原（進）、与那覇、上原（修）、真栄城、新垣（竜）、安里（繁）、菊永、長嶺（国）、畔上、東川平（信）、藤井、米須、赤嶺、今西、下地、佐久本、相良、砂川。

MAKE-UP 新本、新垣（典）、平良（修）、伊志嶺、金城、安里<8/16 地区大会実行委員会>新本<バギオ基金理事会、日本のロータリー100周年実行委員会、地区ビジョン選定委員会、G公式訪問：東京四谷・ワセダ合同、東京江北>新垣（典）<日台親善会議、東京向島50周年、地区危機管理委員会>山城<地区米山奨学 TV>鈴木（康）<地区大会参加推進委員会（東京）>
ゲスト 山口 翔太郎 氏（金城智誉会員）

☆プログラム 9月10日（火）

「空の防人としての自衛隊」
～航空自衛隊の概要～
防衛省 航空自衛隊 那覇基地
第9航空団司令兼那覇基地司令
空将補 稲月 秀正 様
9月17日（火）

「新本博司ガバナー公式訪問」

会長・幹事との打ち合わせ 10:40～11:10
クラブ協議会 11:20～12:20 例会 12:30～13:30
9月24日（火）

「ResorTech Okinawa おきなわ国際IT見本市-
世界水準の観光・リゾート地実現のための
『ResorTech』とは-」
三井物産（株）那覇支店長 花牟礼 真一 氏

10月1日（火） 休会

10月15日（火）「米山奨学生卓話」
ミルマン、ジャスミン フランシス さん
琉球大学医博課程3年（オーストラリア）

那覇ロータリークラブ

事務局 那覇市西3-6-1（パシフィックホテル沖縄1階）TEL 868-1224 FAX 861-4918
E-mail アドレス naha-rc@ml.cosmos.ne.jp HP アドレス：<http://naha-rc.org/>
会長 上原 義信 副会長/クラブ奉仕委員長/会長エレクト 當間 卓 副会長/クラブカウンセラー 安里 政晃
幹事 金城 智誉 クラブ会報委員長 松元 剛 副委員長 傍田 賢治 委員 真栄城 嘉史 与那覇 正明

■ニコニコBOX (*^^)

上原 義信 会長 喜納さん、入会おめでとうございます。これから共に頑張りましょう。ニコニコ。

鈴木 康友 会員 去った 8/30 (土) に行われたクラブゴルフコンペで何と、優勝させて頂きました。同伴のメンバーの方々に感謝を込めてニコニコさせて頂きます。ニコニコ。

■幹事報告 金城 智誉 幹事

*9月のRIレートは1ドル→106円です。

*他クラブ例会休会・変更

・那覇南 RC 9/9 (金) →9/14 (土) 16:00~18:00
場所: グリード西原マリンパーク バーベキュー
広場 (西原町字東崎 17) ビジター費: 5,000円

・那覇西 RC 9/11 (木) 18:30~20:30
場所: 沖縄ハーバービューホテル 10階クインズ
ルーム ビジター費: 5,000円

・コザ RC 9/12 (木) 19:00 点鐘 (観月会)
場所: 本願寺派 城徳寺 ビジター費: 4,000円

・那覇北 RC 9/12 (木) 19:00~21:00
場所: まりんぼつくす (那覇市牧志 1-9-1 一銀
マンションビル 1階) ビジター費: 4,000円

・宜野湾 RC ①9/18 (水) 社会奉仕活動
11:30~草刈り作業/樹木の手入れ 12:30 点鐘
場所: 宜野湾市いこいの市民パーク *雨天時は
事務局で例会。②9/25 (水) 19:00 点鐘 (観月会)

場所: ラグナガーデンホテルプールサイド
ビジター費: 5,000円

*雨天時パセオレストランにて。

■🌸9月の誕生祝い🌸 おめでとうございます

1日 亀川 栄一 (かめかわ えいいち) 会員

9日 小川 秀樹 (おがわ ひでき) 会員

14日 國吉 健 (くによし けん) 会員

22日 三上 昂 (みかみ すばる) 会員

24日 吉村 規亮 (よしむら のりあき) 会員

27日 梶原 浩美 (かじわら ひろみ) 会員

■特別会計 2019-20年度 ニコニコBOX

本日のニコニコBOX ¥4,000
ニコニコBOX 累計 ¥88,000

■新会員のご紹介 おめでとうございます



喜納 健 (きな

たけし) 会員

本籍: 沖縄県

生年月日: 1967年

12月7日

職業: 日本トランスオーシャン航空 (株)

執行役員・路線事業部門長

学歴: 1991年3月 琉球大学 経済学部卒業

職歴: 1991年4月入社 /2009年10月 企画室企画
部企画・関連グループマネージャー /2014年4月 路線
事業部路線業務グループチーフマネージャー/2018年6月
総務部長(兼)監査部長/2019年4月 執行役員
路線事業部門長(現任)

推薦者: 東川平 靖 会員 委員会: 親睦活動

*基本的教育と識字率の向上月間

(Basic Education and Literacy Month)

2014年10月 RI 理事会は9月を重点分野: 「基本的教育と識字率の向上月間」とし、地域社会で基本的教育を普及し、識字能力を高めるためのプログラムを支援し、地域社会の参加を促進、成人識字率の向上、教育における男女格差を減らすための活動、基本的教育と識字率向上に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援を強調する月間。

※ロータリーの友月間 (Rotary-no-tomo Month)

雑誌月間の廃止に伴い 2015-16年度より日本独自に、9月を「ロータリーの友月間」とした。

ロータリー地域雑誌と呼ばれる「友」誌は、全世界に31誌ある地域雑誌でその目的は地域の特徴ある活動をその地域のロータリアンが共有することである。また、『The Rotarian』の中から、いくつかの記事をすべての地域雑誌にも掲載しているのは、全世界のロータリアンが共通して知っておかなければならないためである。会員の義務でもある雑誌の購読や記事紹介を会員に強調する月間でもある。

■第7回例会 「チャレンジRYLA (ライラ)」

国際ロータリー第2580地区 小林 充 RYLA委員長 (那覇西)



「今年度も受講生を推薦下さい」と、
小林 RYLA委員長

今日の話の目的を先に掲げたい。本日の目的はRYLA (ロータリー青少年指導者養成プログラム) への理解を深めていただくことと、第1回RYLAセミナーの報告、第2回セミナーの受講生の募集だ。

唐突だが、知っていますか。2019年3月1日、3日は2580地区の歴史的な第一歩だった。1日に地区初のセミナーが開催され、3日には初のRYLA学友が誕生した。RYLA学友はセミナーを受講して修了証をもらい、ロータリーファミリーに入ることになる。記念すべき第1回の2019年、3月1日、3日をぜひ覚えてほしい。

※6分間のRYLA学友が話す映像を流す。

※続いて第1回セミナーのダイジェスト映像を10分で放映。

見て感じていただいたと思うが、始まりと終わりで受講生の顔が見違えていた。第2回RYLAセミナーは2020年1月17日から19日、金武町のネイチャー未来館で開く。受講生の資格は概ね20歳から32、33歳くらいを予定している。在京から19人、沖縄側7人の計26人。東京の参加者の受講料は沖縄までの往復飛行機代を含めて4万円、沖縄は2万円になる。ロータリアンの方々にもぜひ見に来ていただき、受講生を応援してほしい。1日5000円ずつで、3日間の参加で1万5000円になる。なかなか行けないが協力したいという方は登録料2000円を入れてほしい。

セミナーの内容には大きな特徴が二つある。一つはグループトークに特化した内容だ。リーダ

ー像は一つに絞るのではなく、いろいろな形のリーダーがあつていい。セミナー中の掃除、発表、食事のリーダーなど、いろいろなリーダーを設けている。できる限り、グループ討議をして一人一人の個性を出していきたい。

2番目にカウンセラー制度を導入している。カウンセラー制度とは、ロータリアンが父親、母親役、時には兄、姉の役になって受講生と3日間寝食を共にする。指導するのではなく、聞き役になってその子たちの持っているものを引き出していく役目だ。29地区でRYLAが行われているが、そのうち、私たちを含め2地区だけがカウンセラー制度を持っている。社員研修の一環としてご活用いただくこともいい。もっと主体性を発揮してほしいという社員がいれば、ぜひ参加させてほしい。

RYLA受講後は学友となり、ロータリーファミリーの一員として、奉仕活動、例会にも参加することができる。そして、第1回の学友は第2回セミナーの講義を受け持ってもらう重責がある。学友は将来のロータリアンになる可能性が高いと考えている。

リーダーシップを発揮したい。自分の可能性を広げたい、世界を変えたい、そんな考えを実現するための第一歩がRYLAだ。

ロータリーを知ってもらい、公共イメージと認知度の向上が叫ばれているが、多くの若者をターゲットにしたRYLAの果たす役割はますます高まる。ロータリーファミリーを増やすことにもつながるので、ぜひ受講生の推薦をお願いしたい。

セミナー終了が最終地点とは考えていない。セミナー自体はきっかけだ。終了後も私達は受講生が主体的に動けるようにサポートしていく。受講生の推薦をお願いしたい。

文責: クラブ会報委員長 松元 剛